

## 第32回 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会 議事録

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み、中止とした。

なお、会議については書面での会議として、資料を確認し、承諾をいただいた。

[日時] 令和2年3月9日（月） 10：30～

[場所] 茅野市役所8階大ホール

[議事]

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 交代委員、新任委員紹介
- 4 案件

### (1) 副会長の選出について

副会長については、茅野市・原村地域公共交通活性化協議会規約第5条により、委員の互選により若干人置くものとされています。

### (2) 令和2年（2020年）度茅野市・原村地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算（案）について

#### 1 事業計画（案）

- ・協議会の開催は年2回を予定しています。
- ・茅野市・原村の生活バス交通の運行持続のため、国の補助を受けるための申請及び事業評価の承認をいただきます。
- ・バス交通利用促進のための取組を行います。
- ・利用者数調査や満足度調査を実施し、バス運行の分析を行います。

#### 2 予算（案）

- ・歳入 すべて2市村の負担金となります。茅野市が389万5千円、原村が100万5千円となります。
- ・歳出 1款運営費につきましては、203千円となります。昨年比▲4千円となります。この運営費は、この協議会運営に係る諸費となります。

なお、この会計は、繰越をせずに年度末で精算をし、残高0円として新年度に引き継ぐこととしているため、それぞれの市村への返納金の項目を3項の諸費に設けさせていただいております。

2款事業費は、469万7千円で、前年度と比較し4万8千円の増となります。

内訳につきましては、11 需用費が110万円となります。こちらは、時刻表の印刷製本費などとなります。続いて13 委託費は359万7千円となります。こちらは、茅野市・原村

の地域公共交通の運行事業に係る支援を、公共交通分野のコンサルである、株式会社地域総合計画へ委託する経費になります。委託内容としましては、運行路線の利用分析やダイヤ案等の資料作成、また会議等での支援業務になります。

なお、当協議会予算においては、直接バス運行に係る費用は組込んでおりません。国の補助や運賃等はそれぞれ、事業者に入会入る会計となっていますので、ご理解をお願いいたします。

## 5 報告

### (1) 協議路線運行における利用状況について

この協議会では、平成22年10月から国の補助等を受け実証運行をし、現在の地域公共交通を組み立ててまいりました。実証運行開始時からの利用状況と傾向について資料としてまとめていますので、ご覧ください。

平成31年1月から令和元年12月の利用者数は16.3万人で、前年同期比96.7%と減少しています。要因としては、御狩野線（通学支援便）、原村循環線（通学通勤支援便）、白樺湖線、北八ヶ岳ロープウェイ線の減少が大きいことがあります。通学支援便については、その年々によって生徒数の変化や学校行事等の関係で増減はありますが、特に減数が大きい御狩野線（通学支援便）については、朝部活がなくなったことや、帰りの便の利用者が少なかったことなどが要因として考えられます。また、白樺湖線、北八ヶ岳ロープウェイ線については、観光シーズン（7月～8月）の週末の天候不順や、10月の台風19号による影響が、利用を鈍らせた要因であると考えられます。

一方、協議外路線については、6路線で前年同期比110%と増加しています。

総体的には減少の大きい路線が響いて前年同期比で減少となっていますが、路線ごとでは20路線中12路線で増員となっており、100円乗車キャンペーンの影響が考えられます。

### (2) 利用者満足度調査結果について

茅野市・原村における補助対象路線20路線の利用者を対象に利用者満足度調査を実施しました。主な結果は以下のとおりです。

- ・利用者の年齢は、60歳以上が46%でほぼ半数を占める。
- ・運転免許を持たない方は74%
- ・利用目的としては、通勤・通学が39%、生活目的が44%、観光目的が17%となった。
- ・目的別でみるバスの利用頻度は、ほぼ毎日が35%と最も多く、次いで月に1回程度で19%、月に2～3回程度と続いている。ほぼ毎日とは通学通勤利用者であり、年齢別利用頻度にも傾向が表れている。
- ・買物、通院、温泉は月に1回程度が最も多く、公共施設の利用は月に2～3回が最も多くなっている。

- ・100円キャンペーンは、非常に良いと思うが53%で最も多く、良いと思うと合わせると93%の方が評価している。
- ・利用者の満足度について、全20路線平均の満足度は、満足と概ね満足を合わせた数字が80.5%となっており、昨年度比0.6ポイント上昇している。
- ・項目別の満足度では、運行経路が90.9%となっている一方で、運行本数は53.1%、運行ダイヤは62.6%となっており、課題が浮き彫りになっている。

### (3) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

バス運行に対して、茅野市・原村においては、国の地域公共交通確保維持改善事業を活用して、生活交通確保維持改善計画を策定し、国から補助を受けています。

国の補助を受けるにあたりまして、補助対象路線の評価を行うこととなっています。

このことに基づきまして、平成31バス年度（H30.10～からR1.9まで）評価を行いました。

### (4) 消費税増税に伴うバス運賃値上げに係る書面議決について

令和元年10月からの消費税増税に伴い、委員の皆様のご確認をいただき、10月1日から路線バス運賃の値上げを行いました。（平均改定率1.708%）

## 6 その他

### 1 「蓼科湖前」バス停の変更について

「蓼科湖前」は、北八ヶ岳ロープウェイ線、北大塩・蓼科線、蓼科高原ラウンドバスのバス停となっています。現在蓼科湖畔に道の駅の整備を進めておりますが、蓼科観光協会から道の駅の中にバスを停車させることについて要望があり、バス停の変更について協議が進められています。

協議が整い次第、HP等で周知いたします。

### 2 公園大橋補修工事に伴う公園大橋全面通行止めについて

令和2年5月11日から7月31日まで、公園大橋補修工事に伴い公園大橋が全面通行止めとなります。影響を受ける路線は、御狩野線（日中便）、東向ヶ丘線、中大塩・糸萱線、白井出線、中沢線、小泉・菅沢線、柏原線となります。このことで、「運動公園入口」、「野球場前」、「矢ヶ崎橋」については、停車することが困難となるため、工事期間中廃止とし、それぞれ最寄りのバス停から乗降していただくように検討しています。また、経路についてはすべて粟沢経由となりますが、時刻表の変更はない見込みです。

詳細については、各HP、バス停等で周知いたします。

### 3 新地域公共交通検討会議（仮称）の立ち上げについて

市民ニーズに沿った地域公共交通を実現するための手法について整理し、将来にわたる持続可能な、市内全域の公共交通ネットワークを構築するために、茅野市・原村地域公共交通活性化協議会とは別に、茅野市独自の取組として、市民や事業者等から成る「新地域公共交通検討会議（仮称）」を立ち上げる予定ですので、ご承知おきください。